

# 鳥取しゃんしゃん祭

～生徒が地域を盛り上げ、そして日頃の感謝の気持ちを市民の皆さんに伝えるために～

鳥取県立鳥取西高等学校

鳥取県東部には、雨乞いの踊りをルーツとする「傘踊り」の伝統があり、毎年お盆の時期に市民一斉傘踊りとして鳥取市街地で「鳥取しゃんしゃん祭」を開催し、地元では大いに賑わいを見せています。今年度、鳥取西高等学校の生徒が地域を盛り上げ、そして日頃の感謝の気持ちを市民の皆さんに伝えるために、自主的に連を組織し参加しました。鳥取県では、地元への愛着を育む「ふるさとキャリア教育」に取り組んでおり、この度の取組は、まさに高校生にとってふるさとへの理解や愛着を深める機会となりました。



# 岩美高校から世界へ～国際交流が加速～

日本・ジャマイカ外交関係樹立60周年記念式典で岩美高校吹奏楽部が演奏

鳥取県立岩美高等学校

ジャマイカ大使館から「令和6年2月に東京都で開かれる日本・ジャマイカ外交関係樹立60周年記念式典に岩美高校吹奏楽部に記念演奏をお願いできないか」という依頼がありました。依頼の理由は、2007年に大阪で開催された世界陸上大会に参加するジャマイカ選手団がキャンプ地として鳥取を訪れた時、鳥取県とジャマイカ選手団との交流会にて、当時の岩美高校吹奏楽部が演奏を行い、その時の高校生の演奏が素晴らしかった。ぜひ、記念すべき日本・ジャマイカ外交関係樹立60周年記念式典でも演奏をしてほしいとのことでした。

記念式典に参加し、本校吹奏楽部の演奏を聴いた200名に及ぶ各国大使、外務副大臣等の皆さんの中には感動のあまり涙を流す方もおられたと聞いています。記念演奏のために夏休み中にもかかわらず精力的に練習し、大役を果たしてくれた、吹奏楽部員の行動は地域貢献、国内貢献を超え、国際貢献という偉業を成し遂げてくれました。

